



中学生のスマートフォン利用雑感

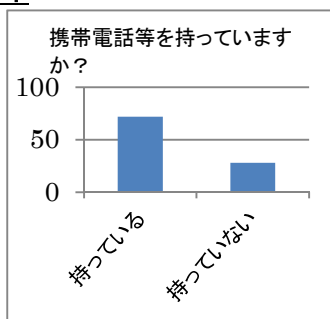
校長 小関 直

師走の風に、本格的な冬の到来を感じます。寒風の中でも生徒たちは元気に活動し、明るい声を響かせています。

さて、埼玉県では中学2年生を対象に、「携帯電話等の利用状況調査」を毎年実施しています。調査結果は、自分自身を律する姿勢の大切さや周囲の大人の関わりを振りかえるよき機会となりますので、紙面に紹介させていただきます。

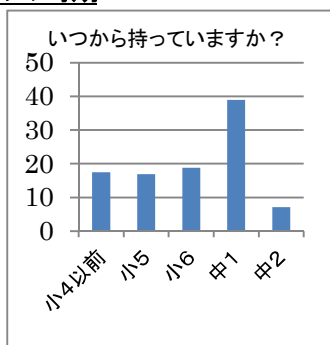
所有率

持っている生徒が約7割となっています。この数字は、ここ数年ほとんど変わっていません。聞けばほとんどの生徒が「欲しい」と答えるでしょうから、もはや単なる普及期は過ぎ、持たせるか、持たせないかは、保護者の判断ということになっているのだと思います。



持ち始めの時期

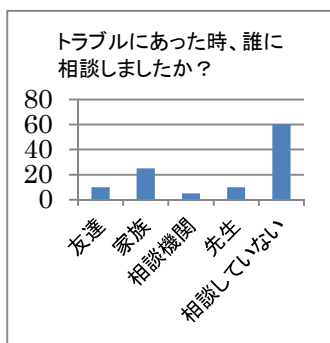
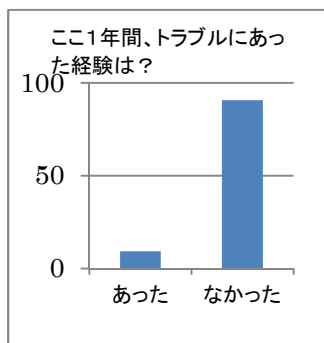
中学校入学をきっかけに持たせる家庭が多いようですが、小4以前から持っている割合も一定以上あり、以降、増加の割合が一定していることから、持たせるきっかけは、「年齢」ではなく、生活環境の「変化」や「広がり」があった時と推察できるのではないのでしょうか。



トラブル

過去1年間のトラブル経験は約1割。9割は問題なく使っているようですが、本校の生徒数の割合で考えると、年間で約40件発生していることとなります。決して少なくない数字だと思えます。

また、トラブルにあった時の相談相手は、やはり「家族」が一番でした。一方、「先生」は約1割にとどまっており、学校として問題を把握することは

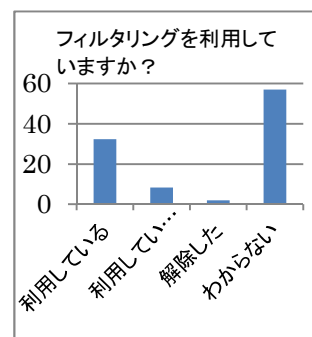


難しい状況にあると思われます。1年間で学校に寄せられる相談は4、5件程度ですから、調査結果とだいたい符合しています。

ここで気を付けなければならないのは、約6割が「相談していない」ということです。本校の場合だと、24、5件あることとなります。一人で悩んでいないか、注意深く見ていく必要があるようです。

フィルタリングの利用

スマホの安全利用には欠かせないとされるフィルタリング。利用しているのは3割程度に留まっています。中には、パスワードを聞き出して、自分で解除している者もいるようです。「わからない」と回答している生徒も6割程度います。使っていれば、フィルタリングの有無は、自ずからわかるものなので、おそらく保護者名義のスマホをそのまま子供に渡して使わせている実態があるのではないかと思います。



スマホは便利！ですが…。

かくいう私もスマホの利用者。タブレットも所有しており、大変便利に使っています。トラブルに巻き込まれた経験ありません。しかし、社会人となった長女が高校生のころは、フィルタリングの利用をさせているにもかかわらず、その使い方が気になり、何度か親子喧嘩となっています。好奇心旺盛な子供が納得できるルールはないのかもしれませんが、でも、親として、そこには絶対に負けられない戦いがありました。それを見て育った妹たちは、安全な利用とは何かを理解しているような気がします。上手に使っているなど率直に感じます。

子供たちの健やかな成長を願うのは、家庭も学校も全く同じです。大人は、知識だけでなく、一喜一憂しながら、たくましさや豊かな感性を育てています。子供たちの希望ある将来を願うからこそ、時には厳しく接するのではないのでしょうか。ですから、「中学生にはスマホは持たせない」と考える3割の保護者の方に強い意志を感じます。

一方、子供に真剣に自分自身のことを考えさせることも大切なことです。楽しいことだけを求めるのではなく、自ら律する姿勢が大事です。強い意思と覚悟こそが自分を変える唯一の手段です。必要があり、スマホを持たせている家庭では、子供と真剣に話し合いをすすめてください。子供の特性に応じて、ルール作りも必要です。

本校でもトラブルは発生しています。「持たせる」、「持たせない」は、最後は保護者の責任だと思えますがいかががでしょうか。

六中生の活躍

【運動面表彰】

新人兼県民総合体育大会県大会

・7位 男子バスケットボール

第8回ホウトナント全日本空手道選手権大会

・優勝 清水 銘子(1-4) 組手中1女子

【文化面表彰】

第40回埼玉県アンソングコンテスト(西部地区)

・吹奏楽部

銀賞 管打楽器八重奏

銀賞 木管八重奏

第13回新座市子ども暗唱・弁論大会

・優秀賞 柳 小春(2-5)「配慮と排除」

新座市人権標語・ポスター・作文

・標語

優秀作品 沼澤 志帆(1-3)

「やさしさはめぐりめぐってあなたにも」

入選作品 坂口 連太郎(1-1)

「受けとめよう 人の優しさ 悲しさも」

入選作品 北村 佑早(2-4)

「つながりよ 人を助ける 絆の手」

入選作品 鳥羽 麻由佳(2-5)

「私も、あなたも同じ「人」彼も、彼女も同じ「人」みんな、みんな同じ「人」」

・作文

入選作品 田中 あやね(1-2)

「電車やバスの優先席について」

入選作品 荒井 有里子(2-1)

「私の兄」

入選作品 松本 直子(3-3)

「変えろ！男尊女卑の社会を」

中学生の「税についての作文」

・朝霞税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞

堀田 舜介(3-5)「日常」

第40回新座市民まつり文化祭俳句大会

・優秀賞

小島 天響(3-5)

「新緑の青がいろどる古都の道」

・奨励賞

藤井 菜美(3-6)

「A4のノートににじむ汗、覚悟」

目崎 愛理(3-6)

「涼風だ水面をおどる金閣寺」

・佳作

安西 悠人(1-2)

「一輪のひまわり咲いて風笑う」

須田 脩平(3-5)

「二条城響きわたるようぐいすが」

高津 ことみ(3-5)

「街駆ける林檎のかおりと子どもかな」

NHK全国俳句大会ジュニアの部

・入選

樋口 寧生(3-3)

「ハスの葉は水面に浮かぶハートかな」

松本 直子(3-3)

「空の橋虹は誰を渡らせる」

市村 駿太(3-3)

「陽炎でゆらゆら揺らぐ君がいる」



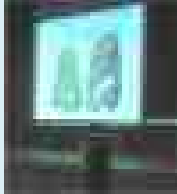
12月の行事予定

日	曜日	学校行事等	給食
1	木	1年2年美化コンクール ※木曜授業314256の順 保育実習3-2、和光南特別支援学校支援学習3-4	○
2	金	1年2年美化コンクール	○
3	土		
4	日		
5	月	学校朝会 1年2年3年美化コンクール	○
6	火	1年2年3年美化コンクール ※火曜授業312456の順 保育実習3-5、和光南特別支援学校支援学習2-3	○
7	水	1年2年美化コンクール 45分5時間授業 ※水曜授業12345の順	○
8	木	生徒会実行委員会 45分6時間授業	○
9	金	1年2年保護者会 3年三者面談 保育実習3-6、4時間授業 ※金曜授業1234の順	○
10	土		
11	日		
12	月	3年三者面談	○
13	火	3年三者面談 ※3年のみ火曜授業12345の順	○
14	水	心の声かけ運動 生徒朝会 3年美化コンクール	○
15	木	3年美化コンクール	○
16	金	3年美化コンクール	○
17	土		
18	日		
19	月	4時間授業 ※月1234の順	○
20	火	4時間授業 ※水6、木345の順 給食終了	○
21	水	学年集会、学活、大掃除	
22	木	終業式	
23	金	大掃除後日	
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		冬季休業日
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

薬物乱用防止教室

11月29日(火)に、薬剤師 大八木 実氏をお招きし、薬物乱用防止教室を実施しました。大切な成長期にある本校生徒のために、薬物に関する正しい知識や具体的な症例をお話いただきました。また、未成年期の飲酒・喫煙について、体の成長を妨げるメカニズムをわかりやすく説明くださいました。

「人は愛されるために生まれ、自分を愛することで成長し、ついには誰かを愛する存在となる。」心に沁みる言葉を最後にいただきました。これを機に、ご家庭でも薬物の恐ろしさについて話し合ってください。



<1月の主な行事>

- 10日(火) 第3学期始業式、学活、清掃
- 11日(水) 給食開始、第3回南部地区校長会テスト
- 12日(木) 身体測定
- 13日(金) 市中体連総合閉会式
- 16日(月) 1年事前指導4h下校
- 17日(火) ~19(木) 1年スキー林間
- 18日(水) 2年上野・浅草フィールドワーク
- 21日(土) 県内私立高校入試解禁
- 26日(木) 新入生保護者説明会

下水道工事に伴う通学路の変更について

先日、新座市上下水道部下水道課から下水道工事を実施する旨の通知がありました。これを受け、本校通学路の一部区間が使用できなくなるため、通学路を変更することになりました。住宅街の狭い道路も使用することから、安全面を配慮して、自転車通学許可者と徒歩による通学者の通学路を分けて指定することといたしました。

配慮事項等詳細については平成28年11月22日付の文書をお読みいただき、お子さんへの安全指導についてご理解とご協力をお願いいたします。